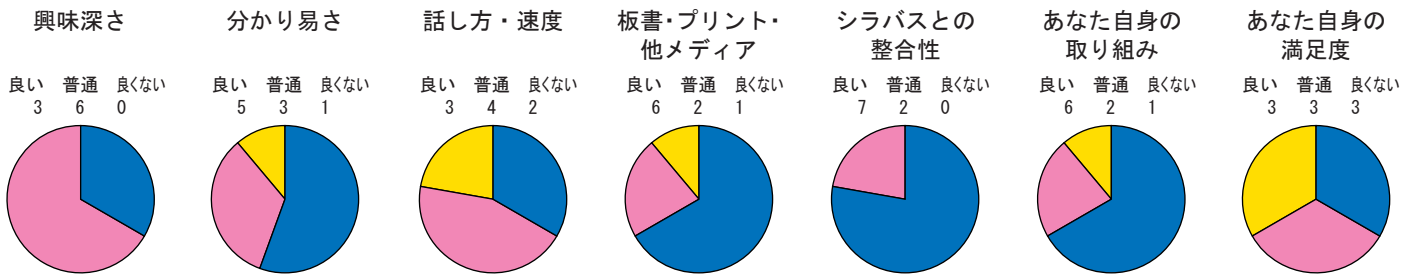


平成15年度2学期 生物学類授業評価

「進化遺伝学実験」

回答者数：9名 履修申請生物学類生数：16名 (回答率56%)



良かった点

- ・ときどきショウジョウバエを見ると、愛着がわいた。▪
- ・板書が分かりやすかった。みんなにくれる飴などに癒された。

改善すべき点

- ・班で分担して、もっといろいろな形質のハエを扱ったほうが良いと思った。▪
- ・時間外労働が多すぎる上に実験も夜遅くまでかかって割に合わない。土日が無くなった。一度はノイローゼになりました。
- ・世話の時間が多すぎる。▪
- ・共同実験者を選べるようにしたほうが良いと思った。(今回は共同実験者があんまり仕事しなかったから。)
- ・何の実験をすればいいのかよくわからない実験があった。実験の説明をちゃんとしてほしかった。ただの作業になっていた。

担当教官のコメント

皆さん夜遅くまで(また土日も)ハエを数えたりして、実験は大変だったことと思います。たった1行のデータ(分離比)を得るのに、その裏にどんな苦労があるのか、理解していただけたことでしょうか(教科書にある数値を眺めているだけでは、このことは実感できないはず)。「割に合わない」というコメントがありましたが、生きている間に自分の研究成果が何人から認められることがなかった(それでも研究を続けた)メンデルの人生は、「割に合わない」と言えますか?